

## 熱中症対策と終業式

本日、表彰式、終業式等を体育館で行うように計画していました。時間にして約2時間です。最近の猛暑から熱中症も心配されたため、体育館に飲み物を持参するよう事前に連絡し、水分を補給する時間を設けたり、扇風機を集めて体育館に設置するなどの対策を講じてスタートしました。

7月上旬の豪雨の影響で、球技大会が途中で中止となり、球技大会の閉会式ができていなかったため、生徒会が球技大会の表彰式をまず行いました。そして、陸上部・写真部・書道部、農業クラブ活動等1学期の各種活動の表彰式、続いて吹奏楽部・陸上部・バスケットボール部・バレーボール部・美術部の県大会、中国大会、全国大会、国体予選に出場する皆さんの激励集会を行い、吹奏楽部はコンクールで演奏する曲を披露してくれました。

ここまで開始から約1時間。

この後、休憩を取り終業式、各部からの連絡を1時間程度予定していましたが、体育館で行うことを中止し、各教室で実施することに変更しました。生徒の顔が見えない中で、一斉放送で、なんともやりにくい状況でしたが、それぞれの担当から今学期を振り返って、2学期へつなげる話をしました。

私自身、以前インフルエンザが流行したとき、3学期始業式を教室で行った経験は本校であります。暑さによる熱中症事故を心配して節目となる儀式的行事を教室で行ったのは、私の長い教員生活で初めてのことです。

## 平成30年度 1学期終業式あいさつ

7月の初めに発生した西日本豪雨では、岐阜県から鹿児島県までの広範囲にわたり大きな被害をもたらし、特に中国・四国地方では甚大な被害が発生しました。この豪雨で亡くなられた方に哀悼の意を表すとともに、家屋等が倒壊し、避難生活を送っておられる方、酷暑の中復旧作業にあたっておられる方々に対し、心よりお見舞い申しあげ、いち早く平常な生活が取り戻すことができますようお祈り申しあげます。

今回の西日本豪雨における災害は、世界的規模で起こっている異常気象や環境問題が人ごとではないということに改めて気づかされることにつながりました。地球温暖化や気象変化における世界各地での災害は近年多くなっているといます。干ばつ、豪雨、豪雪、竜巻、地震・・・毎年のように世界のどこかで“異常”と呼ばれる現象が発生しています。今日本は豪雨の後毎日のように熱中症で亡くなられる方が出ているなど、酷暑が続いています。私たちはこの現実を受け止め、今後どのように対策を講じていくかを真剣に考える時期に来ていると感じています。

話は変わりますが、本年度のスローガンとして、『誇れ！輝け！地域の希望となれ ～ともに学び 鍛え より高みへの挑戦』という言葉が始業式に紹介しました。様々な思いを込めてこのスローガンを作ったのですが、将来の地域を支える人材として育ててほしい、皆さんの活躍が地域の方々の希望となるようにという思いも込めています。そのために皆さんがやることは、まず第一に学ぶことです。学びという活動抜きには成長も、高みへの挑戦も望めません。社会人として職業人としての必要な力をどう身につけていくかを考えると、学校生活や社会生活、家庭生活の一つ一つが学びの場です。

今ここにいる私は、そして皆さん一人一人は、過去の産物です。これまで何をしてきて何を考え、思いながら生活してきたかで今の自分があります。今日何を考えどう行動するかで明日の自分が決まります。この1学期、自分自身がどうだったか、成長できたか振り返ってみてください。やったように人は育ち、考えたように人の生き方が決まる。そう思います。いい加減に物事をやる人は将来そんな社会人・職業人になるのでしょうか、いつも楽しようと願って過ごす人は、常に樂をする道を探して育っていくのでしょうか。

どんな大人になりたいか。それは皆さんの日々の考え方や行動で決まってくると思います。

皆さんはどんな大人になりますか？どんな社会人になりますか？